

小学校 5年算数

組 番 名前

まことさんは、次の問題について考えています。

問題

1 mの重さが3.6 kgの鉄のぼうがあります。この鉄のぼうの0.7 m分の重さは何kgでしょう。

次の(1)、(2)の問いに答えましょう。

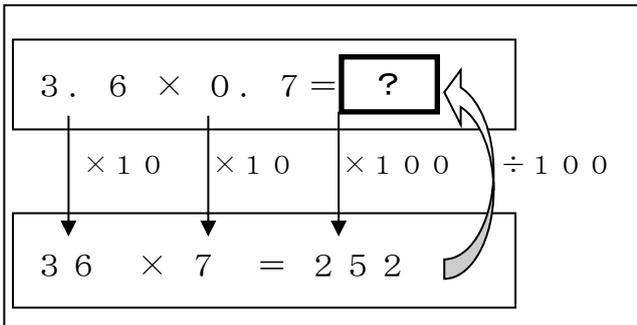
(1) まことさんは、問題の答えを求めるために、式 3.6×0.7 をつくり、 3.6×0.7 の計算のしかたについて、【式1】【まことさんの説明】のように考えました。【まことさんの説明】の に答えをかきましよう。



36 × 7という整数の計算をもとに考えました。

【式1】

まことさん



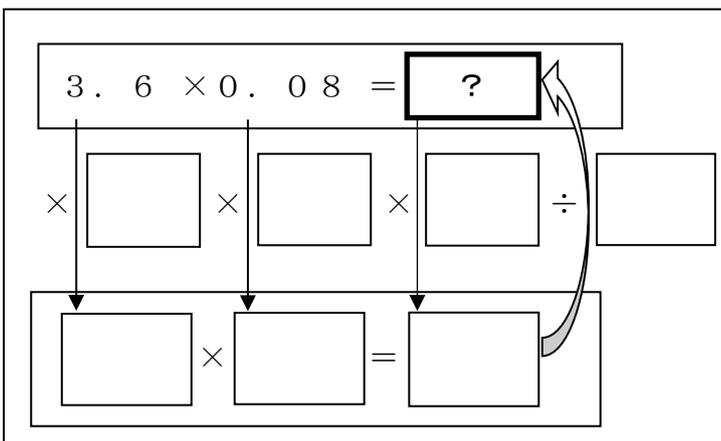
【まことさんの説明】

3.6を10倍、0.7を10倍すると
 36×7 で、その積の $\frac{1}{100}$ だから
 $3.6 \times 0.7 = (36 \times 7) \div 100$

=

(2) まことさんは、(1)に続けて小数のかけ算の計算のしかたについて考えています。【式1】と【まことさんの説明】を参考にして、 3.6×0.08 の計算のしかたを説明します。 3.6×0.08 の計算のしかたについて、【式2】の に適切な数を入れ、【説明】を完成させましよう。

【式2】



【説明】

小学校 5年算数

組 番 名前

まことさんは、次の問題について考えています。

問題

1 mの重さが3.6 kgの鉄のぼうがあります。この鉄のぼうの0.7 m分の重さは何kgでしょう。

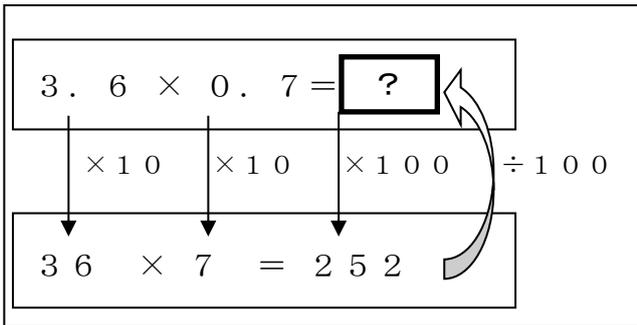
次の(1)、(2)の問いに答えましょう。

- (1) まことさんは、問題の答えを求めるために、式 3.6×0.7 をつくり、 3.6×0.7 の計算のしかたについて、【式1】【まことさんの説明】のように考えました。【まことさんの説明】の に答えをかきましよう。



36 × 7という整数の計算をもとに考えました。

【式1】 まことさん

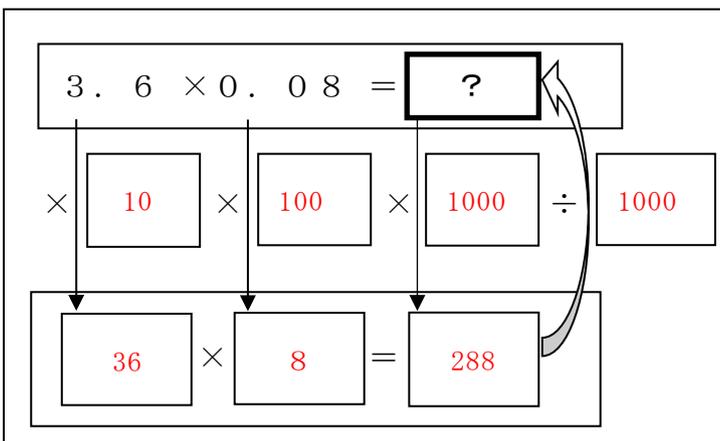


【まことさんの説明】

3.6を10倍、0.7を10倍すると
 36×7 で、その積の $\frac{1}{100}$ だから
 $3.6 \times 0.7 = (36 \times 7) \div 100$
 =

- (2) まことさんは、(1)に続けて小数のかけ算の計算のしかたについて考えています。【式1】と【まことさんの説明】を参考にして、 3.6×0.08 の計算のしかたを説明します。 3.6×0.08 の計算のしかたについて、【式2】の に適切な数を入れ、【説明】を完成させましよう。

【式2】



【説明】

(正答例)

3.6を10倍、0.08を100倍すると
 36×8 で、その積の $\frac{1}{1000}$ だから、
 $3.6 \times 0.08 = (36 \times 8) \div 1000$
 = 0.288